

## 会 議 録

会議名 (付属機関等名)	川西市参画と協働のまちづくり推進会議 令和2年度第4回 B 部会		
事務局 (担当課)	総合政策部 参画協働課		
開催日時	令和2年 10 月 22 日(木) 午後 7 時 00 分から午後 8 時 30 分		
開催場所	ウェブ会議システムにより開催 (傍聴場所:川西市役所 4階 庁議室)		
出席者	委員	田中晃代、横谷弘務、延命寺陽子、金剛丸朋子、中村佳子、堀田大樹、田中真優、吉尾豊	
	その他		
	事務局	総合政策部参画協働課 副部長兼課長、課長補佐、同課主任 2 名	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p style="margin-left: 40px;">1 開 会</p> <p style="margin-left: 40px;">2 議 事</p> <p style="margin-left: 40px;">B 部会のテーマ</p> <p style="margin-left: 40px;">「(地域・市民活動に対して、)やる気や興味・関心が薄い方を巻き込んでいくには」</p> <p style="margin-left: 40px;">3 閉 会</p>		

19:00～

## 1 開 会

## 2 議 事

### B 部会のテーマ

「(地域・市民活動に対して、)やる気や興味・関心が薄い方を巻き込んでいくには」

### ○田中部会長

- ・ 本日は、大きく3つのテーマで議論していく。
- ・ 前回の振り返り、キセラカフェ(11月14日)でのトリカワカードの実践、12月全体会へ向けての提言内容の確認、以上3点である。
- ・ については、これまでも整理してきているが、 の実践の中で出てきた課題やこれからの方策について話し合うことが必要である。

### < 前回の振り返り >

- ・ 前回は両部会からの中間報告を行った。そこでいくつか質問や意見が出ていたと思う。
- ・ 「ゲームの遊び方」、「無理に理屈をつけて解決策を考えている」、「やる気や興味・関心が薄い人を巻き込むテーマなのに、カードを遊ぶ人は既に興味がある人ではないのか」などである。
- ・ 事務局から提言書の要素や今後のスケジュールについて、説明があった。
- ・ やる気や興味・関心が薄い人を巻き込む方法そのものなら、普通はキャッチ なコピーを作る、敷居を下げる、SNSを活用するなどである。そういう手法は今まで議論してくる中で、そういったやり方を思いつかない人もいる。
- ・ 若い人が入ってほしい、次の担い手を育てたい、新しい発想が欲しい、こういった課題にこそ、このカードである。カードゲームを通していろんな発想を掛け算で組み合わせることで、地域の人を育てていく。その人たちが主体となって、やる気や興味関心の薄い人を巻き込んでいく流れをつくっていく。この理屈はみんなでも共有しておくべきだ。

- ・ 興味や関心の薄い方が、アイスブレイクとして何かのきっかけでカードをやってみて、そこから興味や関心を持ってもらえる場合もある。
- ・ 展開場所としては、居場所づくり的なカフェ、研修でのアイスブレイクが想定される。
- ・ キセラカフェは、元々誰でも来てもらえる雰囲気であったが、中身が会議になっていき、限られたメンバーしか来なくなった。今回このカードで地域の人と話しやすいようになって、自然と人が集まるカフェになればと考えている。
- ・ これは重要なことだと思う。もう一度最初のころのように、ふらっと興味を持ってきてくれていた人たちを取り戻すためにも使えるのではないかという提案である。

< キセラカフェ(11月14日)でのトリカワカードの実践 >

- ・ 趣旨説明はいらない、堅苦しくない方が良い。
- ・ カードをやってほしい、感想を教えてくださいなど呼びかけて、「手伝ってあげる」といった流れの方が、興味や関心が薄い人が参加しやすい。
- ・ 参加者は、延命寺委員、金剛丸委員、吉尾委員、市役所職員数名。
- ・ カードが数セット、記録用の写真や動画、遊び方をまとめたものが必要と思う。
- ・ カードは一覧から選ぶのではなく、個別のカードとして作っておくのが良い。
- ・ グループワークはお互いの発表を聞いてはっと気づく点があることが多いので、カードは2セット会った方が良い。4~5人で1グループを2つ作れば理想的だ。
- ・ 回数も3回が理想的だ。1回目はレベルの低い悩み、2回目は、参加者の共通課題、3回目は、blankカードや誰かが悩みを書いてみる。低いレベルから当事者に引き寄せていくような流れがいいと思う。
- ・ グループを2つ作ってやれば、色々と検証のやり方はある。
- ・ 関心がある人には、しっかりテーマを掲げてやってみてもいいし、関心のない人には、トランプやUNOのようなイメージで単にカードゲームを勧めてみるといった感じ。
- ・ アンケートとなると仰々しいので、簡単に感想を話してもらっているところを動画や音声で記録するのはどうか。

- ・ 今は検証段階だと思うので、わざわざ知らない人同士を集めなくても家族や身内でやってみて、感想を集めていくだけでも十分と思う。
- ・ 元々違う目的で集まっている場所にカードを設置するのがよい。(公民館やゲームを貸し出して遊べるお店など)
- ・ トランプのように、リソースカードをもらえたり、目に見えて分かる勝ち負けのルールがあったほうが良い。アマガサキ・トゥ・ザ・フューチャーはポイント制だった。
- ・ 前回資料のルールをそのまま使うと表現が固い、表現や字体、イラストなどを使って柔らかいものにした方がよい。 配付枚数も10枚である必要はない。
- ・ 当日使用する用の説明は、延命寺委員が用意する。
- ・ 3種類のカードは、それぞれ色が違う方が分かりやすい。
- ・ リソースカードは、毎回回収されて配り直しとなるのか、一度配付されたもので、3回連続プレイするのかによって、配付枚数を考える必要がある。毎回回収と配付をするなら、ドキドキ感もあるし、配付枚数は5枚でよいと思う。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で、回収と再配付をするのが良いのだろうか。あらかじめ机に配付されているものを触れずに使ってもらう方がよいのだろうか。
- ・ 最初に全員手を消毒して、カードに触ればよいのではないか。

#### < 今後の課題 >

- ・ 最終的にはどのようにカードをやってくれる人を地域で集めるのか、どのような工夫で集めていくのか。
- ・ 例えば、福祉のカフェでは安価で飲み物や軽食が出て、人との交流もできるという工夫がある。しかし、今回は、興味や関心の薄い人を集めるというハードルの高い課題である。
- ・ 友達ネットワークというか信頼している人から進められたらやってみようとなるのかは、今回検証してみる価値はある。
- ・ 人は集めるのではなくて、集まっているところに出向くイメージがよい。マルシェやイベントにブースを出して、楽しそうにカードゲームをやっているだけでもいいのではないか。

### **3 閉 会**

- ・ 次回の部会は、11月14日のキセラカフェ以降に開催予定。後日、日程調整を行う。